

TRANSLATING JAPANESE POPULAR CULTURE: CREATING A DIALOGUE WITH THE WEST ON JAPANESE MANGA

日本のポピュラー・カルチャー (Manga) を考察する： 西洋との対話の構築に向けて

◇講師：**Professor Martin Parker** (University of Leicester)
国際学ジャーナルOrganizationのEditor-in-Chief(2008-2012)

◇コラボレーター：Dr Jerzy Kociatkiewicz
(Sheffield University Management School, UK)

◇Kobe-SUMS Project Organiser：
Dr Naoko Komori (University of Sheffield, UK) &
Prof Ryuta Suzuki (Graduate School of Business
Administration, Kobe University)

◇形式：基調講演と参加型ワークショップ

◇内容と目的：

企業だけでなく、社会・アカデミアのグローバル化が進む中、日本の歴史・社会・文化的コンテキストの中から日本的経営を捉えるフレームワークを再構築することが重要な課題となっています。このような目的のもと、このワークショップでは、Manga (漫画) を糸口に考察します。日本のMangaは、企業活動と同様、海外に輸出され、多文化圏に急速に影響を及ぼしてきています。ワークショップでは Critical Management Studies、特にポピュラー・カルチャー研究の第一人者である、Professor Martin Parker を迎え、日本と西洋 (または国際) 社会での考え方についての対話を構築する中から、Manga cultureを生み出している日本の社会・文化的コンテキスト、Mangaの受け止められ方の日本と社会のギャップなどについて議論します。

◇日時：2017年4月6日
PM 1:00~5:00

◇場所：第一学舎
208教室

◇言語：日本語と
英語

◇プログラム：

- ・ **Professor Martin Parker 基調講演**
- ・ **Workshop**：参加者がテーブル分かれて、テーマ (例：日本人にとって漫画のもつ意義) についてディスカッション
- ・ **グループ・プレゼンテーション** & 質疑応答
- ・ Professor Martin Parker と Dr Jerzy Kociatkiewicz からの **フィードバック**。

◇SUMS-Kobe Research Projectについて：
神戸大学と英国シェフィールド大学はパートナーシップを締結し、2016年、International Double Degree Doctoral Programmeを開始しました。

このSUMS-Kobe International Research Workshop はそれに引き続く、皮切り企画です。

お問い合わせ：
経営学研究科 研究助成室
e-mail：bkenjo@kobe-u.ac.jp

◇Professor Martin Parkerの略歴：

英国University of Leicester のProfessor of Organisation and Culture文化人類学、社会学、文化研究を研究基盤にもつ。国際学ジャーナル Organization の Editor in Chief (2008-2012)。サーカスや海賊を題材にオルタナティブオーガニゼーションについて研究している。

◇Dr Jerzy Kociatkiewiczの略歴：

英国Sheffield University Management School のSenior Lecturer Polish Academy of Science より PhD degree in Sociology を取得 Zygmunt Bauman の弟子にあたり、Liquid Organization : Zygmunt Bauman and organization theory, Routledge(2014) を Monika Kostera と共著で出版する。最近の研究では、シャーロック・ホームズの合理性について小説から社会的に分析している。